

《解説》

The ^{出来事} events ^{例の、件(くだん)の} in question ^{起きる} occurred in the ^{早い} early days of my ^{関係} association with Holmes, when we were ^{分ける} sharing rooms as ^{独身、学士} bachelors in Baker Street.

1. in question 日本語で言えば、『例の件』とか『あれ、どうなった?』という時の『あれ』。先ほどから述べている、これ程奇妙な事件に出くわしたことはない、という、『その』一件。

([Home](#) で戻る)

2. association また出ました、“association”。この場合は、ホームズとワトソンとの“関係”でルームシェアをする事。

([Home](#) で戻る)

3. when コンマの後に関係副詞が来ていることから、その前の一節を受けて、『(ホームズとのルームシェアを始めて間もない) その頃、私たちは...』、と後続の説明文に繋がっていきます。

([Home](#) で戻る)

4. sharing “share” は “分ける” という意味。

同じ単語を使って “market share” “市場占有率” と言ったりしますね。

([Home](#) で戻る)

5. Bachelor 『学士』という意味もある単語です。『学士』とは四年制大

学を卒業すると得られる資格。

その後大学院の修士課程（通常二年）を修了すると修士（英語では“master”）さらに進んで博士課程（通常三年）を修了すると博士（英語では“doctor”）となります。

ですから、“as bachelors”を学士として（つまりは学生の頃）と理解できなくもないのですが、ホームズとワトソンが知り合ったとき（その経緯は『緋色の研究』という物語に記してあります）既にワトソンは博士号を取得していることから、ここでは“学士”というよりは“独身男性”と訳したほうがよいでしょう。

([Home](#) で戻る)

6. Baker Street “ベイカーストリート”ですが、日本ではしばしばベイカー街と訳されています。でも私はこの訳には少し疑問が。

というのは、“ベイカーストリート”とは、“ストリート”というその名の通り“道”の名前なのです。その道の端から、1 番、2 番・・・と附番してあって 221 番目のところがホームズのアパートがあったとされるところです。

「え？ 道はずっと続いているのに？じゃ、ずっと番号が続くわけ？」と私も疑問でしたが、住所として使用する道の名前は、例えば交差点を超えると、変わるのです。

コナンドイルがシャーロックホームズシリーズを書いていたころは、ベイカーストリートは 221 番まではなかったそうですが、その後の区画整理でベイカーストリートが延伸されることになり、221 番ができたそうです。

本来なら、延伸された部分は違う名前が付けられてもよかったはずで

すが、もしかすると 221B という番地を作るために同じ名前にしたのかも
しれませんね。

([Home](#) で戻る)

《要約すると》

ホームズも私も独身で、ベーカーストリートのアパートで共同生活を始めたばかりの頃に起きた事件です。